

作成日：2006 年 7 月 1 日

改訂日：2016 年 5 月 2 日

安全データシート（SDS）

1. 化学品及び会社情報

製品名 MF ボンドN

会社名 日新工業株式会社

住所 〒120-0025 東京都足立区千住東 2 丁目 23 番 4 号

担当部門 技術部

電話番号 048-755-6188 FAX 番号 048-755-6177

緊急連絡先 03-3882-2613 営業総務課

奨励用途及び使用上の制限 工業用（防水材シート用 接着剤）

整理番号 KR-M018

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

引火性液体	区分 2	発がん性	分類できない
急性毒性 経口	分類できない	生殖毒性	区分 2
急性毒性 経皮	分類できない	標的臓器／全身毒性(単回暴露)	
急性毒性 吸入（ガス）	分類できない	中枢神経系	区分 1
急性毒性 吸入（蒸気）	分類できない	血管系、腎臓	区分 2
急性毒性 吸入（粉じん、ミスト）	分類できない	気道刺激性	区分 3
皮膚腐食性/刺激性	区分 2	標的臓器／全身毒性(反復暴露)	
眼損傷/刺激性	区分 2A	中枢神経系、末梢神経系	区分 1
皮膚感作性	分類できない	吸引性呼吸器有害性	区分外
呼吸器感作性	分類できない	水生環境有害性(急性)	区分 2
生殖細胞変異原性	分類できない	水生環境有害性(長期間)	分類できない

※ 記載のないものは分類対象外または分類できない。

GHS ラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

- ・ 引火性の高い液体及び蒸気
- ・ 皮膚刺激

- ・ 強い眼刺激
- ・ 呼吸器への刺激のおそれ
- ・ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
- ・ 中枢神経系の障害
- ・ 血管系、腎臓の障害のおそれ
- ・ 長期にわたる、又は反復暴露による中枢神経系、末梢神経系の障害
- ・ 水生生物に毒性

注意書き

<安全対策>

- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること
- ・ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
- ・ 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙
- ・ 容器を密栓しておくこと
- ・ 涼しい場所に置くこと
- ・ 容器を接地すること。アースをとること
- ・ 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること
- ・ 火花を発生させない工具を使用すること
- ・ 静電気放電に対する予防措置を講ずること
- ・ ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと
- ・ ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること
- ・ 取扱い後は良く手を洗うこと
- ・ 取扱い後は良く眼を洗うこと
- ・ この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと
- ・ 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること
- ・ 環境への放出を避けること
- ・ 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること
- ・ 保護手袋を着用すること
- ・ 指定された個人用保護具を使用すること

<救急処置>

- ・ 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと
- ・ 皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
- ・ 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・ 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
- ・ ばく露した場合、医師に連絡すること
- ・ ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること
- ・ ばく露した時、又は気分が悪い時は、医師に連絡すること

- ・ 気分が悪い時は、医師に連絡すること
- ・ 気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること
- ・ 特別な処置が必要である
- ・ 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を受けること
- ・ 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当を受けること
- ・ 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること
- ・ 火災の場合には、適切な消火剤を使用すること

<保管>

- ・ 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること
- ・ 換気の良い場所で保管すること
- ・ 施錠して保管すること

<廃棄>

- ・ 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

- ・ 有機溶剤中毒を起こすおそれがある

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

製品は混合物

化学名

—

一般名

ニトリルゴム系溶剤形接着剤

成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
メチルエチルケトン	50~60	$\text{CH}_3\text{CH}_2\text{COCH}_3$	(2)-542	—	78-93-3
シクロヘキサン	10~20	C_6H_{12}	(3)-2233	—	110-82-7
アセトン	1~5	CH_3COCH_3	(2)-542	—	67-64-1

分類に寄与する不純物及び安定化添加物：情報なし

4. 応急措置

吸入した場合：

- ・ 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：

- ・ 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
- ・ 多量の水と石鹼で洗うこと。
- ・ 直ちに医師に連絡すること。

目に入った場合：

- ・ 直ちに医師に連絡すること。
- ・ 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

- ・ 医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：

- ・ 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- ・ 直ちに医師に連絡すること。

応急処置をする者の保護：

- ・ 救助者は必要に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤：	粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、砂、一般の泡消火剤。
使ってはならない消火剤：	水。 棒状注水。
特有の危険有害性：	極めて燃え易い：熱、火花、火災で容易に発火する。
特有の消火方法：	ガスの滞留しない場所で風上より消火し、漏洩防止処置を施す。
消火を行う物の保護：	消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：	危険な現場を分離して無関係者及び保護具未装着者の出入りを禁止する。 漏洩場所を換気する。 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。 作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
環境に対する注意事項：	環境中に放出してはならない。 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 希釈水は汚染を引き起こすおそれがある。
封じ込め及び浄化の方法及び機材：	漏出物を取り扱うとき用いる全ての設備は接地する。 危険でなければ漏れを止める。 少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。 大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。
二次災害の防止策：	すべての発火源を速やかに取り除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 床面に残るとすべる危険性があるため、こまめに処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

技術的対策：『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
安全取扱い注意事項：	換気の良い場所で取り扱うこと。 眼、皮膚又は衣類に付けないこと。 取扱い後はよく手を洗いうがいをする。 火気厳禁、静電気注意。 周辺での高温物、スパーク、下記の使用を禁止する。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
接触回避：	『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策：	取扱い後はよく手を洗うこと。
保管：	
適切な保管条件：	保管場所は、壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。 『10. 安定性及び反応性』を参照。 保管温度：2～40℃ 日光から遮断すること。 容器を密閉して保管すること。 施錠して保管すること。
安全な容器包装材料：	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：	換気をしながらご使用ください。 本製品を貯蔵又は使用する設備は、眼洗浄施設及び安全シャワーを設置したほうが良い。 局所排気装置を設置する。
-------	---

管理濃度及び許容濃度：

成 分	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会(2010)	ACGIH(2009)
メチルエチルケトン (MEK)	200ppm	200ppm(590mg/m ³)	TWA 200ppm STEL 300ppm
シクロヘキサン	設定されていない	150ppm(520mg/m ³)	TWA 200ppm STEL —
アセトン	500ppm	200ppm(470mg/m ³)	TWA 500ppm STEL 750ppm

保護具：	
呼吸器用の保護具	防毒マスクには有機ガス用吸収缶を使用する。
手の保護具	保護手袋を着用すること。
目の保護具	眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣、必要に応じて保護服及び保護長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状： 粘稠性液体。

色： 淡黄褐色。

臭い： ケトン臭。

pH： データなし。

物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲：

データなし。

融点： データなし。

沸点： データなし。

初留点： データなし。

引火点： -18℃。（タグ密閉式）

爆発特性： データなし。

蒸気圧： データなし。

蒸気密度： データなし。

比重（密度）： 0.86 g/cm³

溶解性 水に不溶。有機溶剤に可溶。

オクタノール／水分配係数：

データなし。

分解温度： データなし。

その他のデータ：

粘度（3,000～5,000 mPa・s）

10. 安定性及び反応性

反応性： 反応性なし。

化学的安定性： 通常の条件下では安定である。

避けるべき材料： 溶剤の蒸気は空気より重く、地面あるいは床に沿って移動する事があり、遠距離引火の可能性がある。

混触危険物質： 酸化性物質、その他一般的な混触禁止物質との混触を避ける。

危険有害な分解生成物：

燃焼などによりCO等の有害ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性

経口 分類結果は急性毒性（経口）一区分外となるが、分類できない成分が約30%含まれるため急性毒性（経口）一分類できないとした。

経皮 分類結果は急性毒性（経皮）一区分外となるが、分類できない成分が約30%含まれるため急性毒性（経皮）一分類できないとした。

吸入 分類結果は急性毒性（吸入：蒸気）一区分外となるが、分類できない成分が約50%含まれるため急性毒性（吸入：蒸気）一分類できないとした。

粉じん、ミストによる健康への有害性は判断できないため急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）－分類できないとした。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性：

混合物の成分の皮膚腐食性及び皮膚刺激性－区分2の濃度合計が10%以上のため、皮膚腐食性及び皮膚刺激性－区分2とした。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：

混合物の眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性－区分2Aの濃度が10%以上のため、眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性－区分2Aとした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：

分類結果は、呼吸器感作性－区分外となるが分類できない成分が約99%含まれるため呼吸器感作性－分類できないとした。

分類結果は、皮膚感作性－区分外となるが分類できない成分が約99%含まれるため皮膚感作性－分類できないとした。

生殖細胞変異原性： 分類結果は、生殖細胞変異原性－区分外となるが分類できない成分が約30%含まれるため生殖細胞変異原性－分類できないとした。

発がん性： 分類結果は、発がん性－区分外となるが分類できない成分が約30%含まれるため発がん性－分類できないとした。

生殖毒性： 混合物の成分の生殖毒性－区分2の濃度がカットオフ値以上のため生殖毒性－区分2とした。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：

混合物の成分の特定標的臓器毒性（単回ばく露）－区分1（中枢神経系）の濃度が10%以上のため特定標的臓器毒性（単回ばく露）－区分1（中枢神経系）とした。

混合物の成分の特定標的臓器毒性（単回ばく露）－区分2（血管系）の濃度が10%以上のため特定標的臓器毒性（単回ばく露）－区分2（血管系）とした。

混合物の成分の特定標的臓器毒性（単回ばく露）－区分2（腎臓）の濃度が10%以上のため特定標的臓器毒性（単回ばく露）－区分2（腎臓）とした。

混合物の成分の特定標的臓器毒性（単回ばく露）－区分3（気道刺激性）の濃度が20%以上のため特定標的臓器毒性（単回ばく露）－区分3（気道刺激性）とした。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：

混合物の成分の特定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分1（中枢神経系）の濃度が10%以上のため特定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分1（中枢神経系）とした。

混合物の成分の特定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分1（末梢神経系）の濃度が10%以上のため特定標的臓器毒性（反復ばく露）－区分1（末梢神経系）とした。

吸引性呼吸器有害性：40℃動粘性率が20.5 mm²/sより大きいいため吸引性呼吸器有害性－区分外とし

た。

12. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）：

混合物の成分の（毒性乗率×10×水生環境有害性（急性）－区分1）+水生環境有害性（急性）－区分2の濃度が25%を超えるため、水生環境有害性（急性）－区分2とした。

水生環境有害性（長期間）：

分類結果は水生環境有害性（長期間）－区分外となるが、分類できない成分が約30%含まれるため水生環境有害性（長期間）－分類できないとした。

生態毒性： 情報なし。

オゾン層下への有害性：

データなしのためオゾン層への有害性－分類できないとした。

その他： 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。

乾燥物は廃プラスチック類に分類される（安定型産業廃棄物）。

汚染容器及び包装： 空容器類を廃棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理または回収にまわす。

外箱、紙管など紙製容器・包装：回収または紙くずとして処理（単体で管理型産業廃棄物、付着成分がある場合も管理型産業廃棄物）。

金属缶、金属ドラム、金属チューブ類：金属くずとして処理（単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う）。

ガラス容器：ガラスくずとして処理（単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う）。

プラスチック製のボトル・チューブ、袋など：廃プラスチック類として処理（単独で安定型産業廃棄物、付着成分がある場合はその安定型・管理型分類に従う）。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 I M Oの規定に従う。

UN No. 1133

Proper Shipping Name ADHESIVES

Class 3

Packing Group	II
Marine Pollutant	Not applicable
Transport in bulk according to MARPOL73/78, Annex II, and The IBC code	Not applicable
航空規制情報	I C A O / I A T A の規定に従う。
UN No.	1133
Proper Shipping Name	ADHESIVES
Class	3
Packing Group	II
国内規制	
陸上規制	消防法、労働安全衛生法、毒物劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	1133
品名	接着剤
国連分類	3
容器等級	II
海洋汚染物質	非該当
MAPPOL 73/78 付属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	1133
品名	接着剤
国連分類	3
等級	II
特別の安全対策	『7. 取扱い及び保管上の注意』の記載に従うこと。 容器の洩れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。
緊急時応急措置指針番号	128

15. 適用法令

労働安全衛生法：	第2種有機溶剤等（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号） 作業環境評価基準（法第65条の2第1項） 名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条1、施行令第18条） 危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号） 名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）
----------	---

	アセトン 政令番号 17、シクロヘキサン 政令番号 232 メチルエチルケトン 政令番号 570
麻薬及び向精神薬取締法	麻薬向精神薬原料（法別表第 4（9）、指定令第 4 条）
消防法	第 4 類第一石油類（非水溶性）
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第 1 の 16 の項（2） 輸出貿易管理令別表第 2（輸出の承認）
船舶安全法	引火性液体類（危機則第 2，3 条危険物告示別表第 1）
航空法	引火性液体（施行規則第 194 条危険物告示別表第 1）
港則法	危険物・引火性液体類（法第 21 条 2、則第 12 条、昭和 54 告示 547 別表二）

16. その他の情報

参考資料

- JIS Z 7253-2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）
- JIS Z 7252-2009 GHS に基づく化学物質等の分類方法
- 社団法人 日本化学工業協会 GHS 対応ガイドライン（平成 20 年 10 月）
- 経済産業省 事業者向け GHS 分類ガイダンス（平成 21 年 3 月）
- 日本ケミカルデータベース（株）SDS 作成システム「ロジスト」
- 製造メーカーの SDS

- このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであって、その記載内容に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。
- このデータシートは、作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。
- このデータシートは通常想定される保管方法および取扱い方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は取り扱いに適した安全対策を実施の上ご利用下さい。
- 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご利用下さい。
- 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守の上、輸出してください。